

CC-Link News



Vol.9
May 2003

CC-Link協会での活動と成果を振り返って ~ CLPA代表幹事退任挨拶 ~

三菱電機株式会社 大久保 秀之 氏



初代・杉山 彰氏の後を受けて、2001年12月から2003年5月までの約1年半の間、幹事会の代表幹事を務めさせていただきました三菱電機株式会社の大久保です。今般の代表幹事退任にあたって、最近のCLPAの活動と成果をご

報告申し上げます。退任の挨拶に代えさせていただきます。

1 会員数:480、出荷累計数:157万ノードを達成!

CC-Linkは、CLPA設立から2年半の間、新規格「CC-Link/LT」や「CC-Link Ver.2.0」の制定とリリースなど、弛みない仕様のパワーアップと精力的な普及活動を継続展開してきました。

そして、その優れた機能・性能はパートナー会員の努力の結晶であるCC-Link接続製品群となって開花し、アジアや世界のユーザーに認められ、グローバルな普及が更に加速しつつあります。

パートナー会員数は480(2003/4/30現在)となり、CLPA設立時の3.5倍を超える増加率を示しました。

2 グローバル化が更に進展(海外会員の増加)

特に、韓国を始めとする海外からの入会が活発で、海外パートナー会員数の割合は、全体のほぼ半数を占めるまでになりました。(480会員中237会員)

代表幹事を引き継いだ1年半前までは39社(17%)であったことを考えると、そのグローバル化進展の度合いもご理解いただけるかと思えます。

3 ユーザー選択肢が更に拡大(接続製品の増加)

パートナー会員数の増加に伴い、会員企業による製品の開発も活発で、コンFORMANCEテストに合格し発売に至ったCC-Link接続製品は、累計で482機種(2003/4/30現在)となり、代表幹事在任中の1年半で130機種を超える増加を見ることができました。

オープンネットワークであるCC-Linkの"豊富な製品群から、ユーザーの最適な機器を選択できる"との特長・利点が益々拡大してきています。

4 SEMICON-Japan2002でのEESソリューション

CLPAでは、2002年12月4日~6日の3日間に亘り幕張

メッセで開催された「SEMICON-Japan2002」に出展し、2,300名のご来場をいただきました。

CLPAブースでは、「EES for CC-Link」のコンセプトの下、CC-Link Ver.2.0やCC-Link/LTを含めて、メインステージやパネル展示でCC-Linkソリューションを展開しました。

現在の半導体製造装置においては、稼働率や歩留まりの向上、装置・プロセスのトラブル対策などが問題になっており、EES(装置エンジニアリングシステム)による課題解決を進めていくことが急務になってきています。

CC-Linkは、EESにおいて不可欠な高速データ転送を実現する最適なSAN(Sensor Actuator Network)であることを一貫して訴求し、ご来場の半導体製造関係者や報道関係者の注目を集めました。

CLPAブースの来場者に毎年頂いているアンケートの分析結果では、2001年度で57%だった半導体製造関連でのネットワーク採用率が2002年度では78%まで上がり、省配線やリモートメンテナンスを狙いとしたネットワーク化の傾向が更に顕著になっていることが分るとともに、CC-Linkは上記78%中48%と他を圧倒した採用率と前年度から倍増した伸びを示しました。

5 さいごに

代表幹事の大役を仰せつかった2001年12月は、CLPAが発足して1年が経過し、日本国内は勿論、海外6拠点での協会運営や活動も軌道に乗り、国際規格であるSEMIスタンダードの取得とも相まって、CC-Linkが順調にグローバルスタンダードへの道を歩み始めていた時期でした。

上記でご報告のように、その後のCC-Linkの発展は更に目覚ましいものがありました。CLPA代表幹事として、日本発&初のオープンフィールドネットワークであるCC-Linkのこうした発展に微力ながら貢献できたことは、私の喜びであり誇りでもあります。

これまで、ご支援いただいた幹事会メンバー、テクニカル部会・マーケティング部会、パートナー会員、そしてCC-Linkをご採用いただいているユーザーの皆様へ深く感謝申し上げます。CC-Linkの更なる発展を祈念してCLPA代表幹事退任の挨拶といたします。



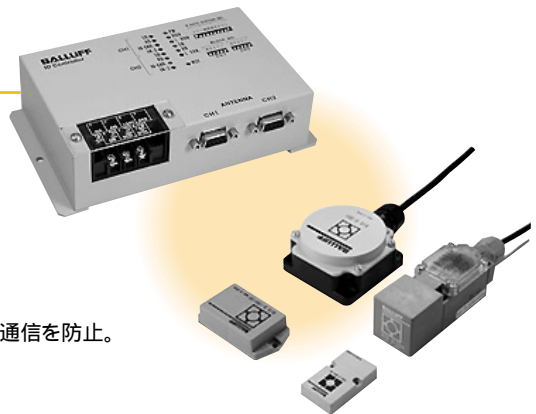
CC-Link対応製品続々登場!

パートナーメーカー各社の製品が、続々と登場しています。各製品はノイズ試験、H/W、S/W試験、組み合わせ試験、インタオペラビリティ試験、エージング試験を機種ごとに実施しているため、安心してお使いいただけます。各製品の詳細情報・お問合せ先は、協会ホームページ内“製品情報”をご覧ください。(協会ホームページ: <http://www.cc-link.org>)

日本バルーフ株式会社

BIS S-404-30 IDシステムコントロールユニット

高速交信により、データ読み書き時間を短縮。
IDアンテナを二本接続でき、並行処理が可能。
IDタグが交信範囲内にあることを確認。
意図しない書き込みを防止し、データを保護。
マスタユニット1台あたり、最大16台接続可能。
環境性に優れた電磁結合方式と多重チェックにより、誤データの通信を防止。



株式会社指月電機製作所

VMCL-09S1201 CC-Link対応表示器

CC-Linkのネットワークにより文字表示を簡単に直接指示できます。
LED(発光ダイオード)を使用した見やすいディスプレイ。
任意の文字に対して3色(赤、緑、橙)の表示が可能。
表示する文字数に応じて固定表示と流し表示を自動判別します。
反転、点滅、フラッシュなど内容に応じた多彩な表示が可能です。



ヨシオ電子株式会社

CCL-CM 2CH キャパシタンスマノメーター用ユニット

CM(バラトロン®R)の自動制御装置などに最適な電源ユニットです。
弊社CCL-MFCとI/O完全互換で出力電源のパワーアップ版です。
内部処理時間=2msと高速です。
外部電源部 - 通信、D/A&A/Dとは、絶縁されております。



竹菱電機株式会社

TKB-SYS001 Quick FA Gateway

オムロン殿製温度調節器(NEOシリーズ)とを接続するゲートウェイ
CC-Linkによりプログラムレスで使用できます。
シケンサからモニタリングと各種設定ができます。
各種規格・認証取得。



専門部会活動報告

CC-Link協会専門部会では、CC-Link普及、および協会活動の活性化を目的として、会員の協力により、活動をすすめています。専門部会への参加は随時受付しています。

参加を希望されるパートナーの皆様は、協会ホームページ内“活動部会入会案内”をご覧ください。

テクニカル部会

28会員参加(2003年4月現在)

テクニカル部会では、CC-Link、CC-Link/LT仕様、コンフォーマンステスト仕様の維持管理、各種技術動向の調査、技術課題への取り組み継続しています。

また、技術課題検討を目的としたワーキンググループも部会内に設置し、CC-Linkの更なる技術革新の為に、積極的に活動しています。

マーケティング部会

23会員参加(2003年4月現在)

マーケティング部会では、展示会、セミナーの企画・運営、広報活動の推進、ホームページの充実など、CC-Linkの認知度向上に向けた数々の活動を検討・実行しています。昨年出展したSEMICON-Japanでは、数多くの来場者の方々からアンケートを頂きました。

皆様から寄せられた、ご意見、ご要望にお応えするため、更なるCC-Linkの普及に努めて参ります。

CC-Linkメール情報サービス CLPA Plaza



CC-Linkの新着情報をいち早くお届けするメール情報配信サービス“CLPA Plaza”は、数多くの方々に登録いただき、好評をいただいております。

今後も更なる内容の充実を図っていきます。

CLPA Plazaは、無償でCC-Linkに関する各種情報をお届けします。CC-Link協会ホームページから随時受付けておりますので、お気軽にご登録ください。

是非ご利用ください!! CLPA Plaza

CC-Link新着情報

CC-Link協会ホームページの新着ページの案内を中心に、CC-Linkに関する情報をお知らせします。

CC-Link対応製品情報

パートナー新製品の情報をご紹介します。

イベント・セミナー情報

CC-Linkに関係するイベントやセミナーの情報をご紹介します。

敷設マニュアルをご活用ください!!

CLPAテクニカル部会で作成した「敷設マニュアル」が、好評をいただいております。

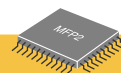
本書は、CC-Link製品をネットワーク上で、使用する際の事前検討項目、敷設に必要な機器の選定、施行上の留意点、手順などを掲載しています。

本書をご活用いただき、CC-Linkのネットワーク構築にお役立てください。



敷設マニュアルをご希望の方は、CLPAホームページからダウンロード頂くか、CLPAまで直接お問合せください。

サンプル通信LSIのご紹介



CLPAではパートナーの皆さまのCC-Link、CC-Link/LT対応製品の開発試作の便宜を図るべく、通信LSIの無償ご提供サービスを実施しています。通信プロトコルを内蔵していますので、プロトコルを意識することなく、対応製品が容易に開発できます。

お問い合わせはCLPAまでお願いいたします。

< サンプル通信LSI >

CC-Link専用通信LSI MFP2

リモートI/O局用

CC-Link専用通信LSI MFP3

リモートデバイス局用

CC-Link/LT専用通信LSI CLC21

リモートI/O局用

サンプルのご提供はレギュラー会員以上のパートナーの方を対象とします。

新幹事紹介



三菱電機株式会社

新代表幹事 古久保 雄二 氏

このたび、CC-Link協会幹事会の代表幹事を勤めさせていただく事になりました。三菱電機株式会社の古久保です。会員の皆様のご努力により、CC-Linkはオープン化されたフィールドネットワークとして着実に普及・発展してきており、特にユーザーサイドの利便性を大きく向上できたものと確信しております。

今後は、CC-Linkの更なる進化とグローバル化を推進し、世界レベルでのデファクトスタンダードの地位を確立させるべく努力していく所存です。皆様方のご指導、ご支援方よろしくお願いたします。

海外だより

CLPA欧州支部 MTECへ出展

開催期間 2003年2月12日～13日

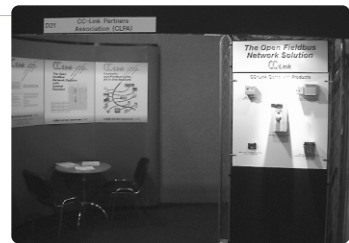
開催場所 National Exhibition center, Birmingham, UK

CLPA欧州支部が、今回、出展したMTECは、センサー、計測器を中心としたFA総合展示会です。

CLPAではCC-Linkの使いやすさ、機能性をご説明すると共に、パートナー製品を展示し、CC-Link採用メリットをご紹介しました。

これからも様々な活動を通して、“CC-Linkの魅力”を紹介していきます。

Malcolm C Robins CLPA欧州支部代表



CLPA韓国支部 KOFA2003へ出展

開催期間 2003年3月4日～7日

開催場所 COEX, Seoul, KOREA

CLPA韓国支部では、3回目のKOFA出展となりました。

今回は、数多くのパートナー製品を活用し、急速に整いつつあるCC-Linkのマルチベンダー環境をご紹介しました。

また、来場者の皆様からは、CC-Link Version 2.00、およびCC-Link/LTに関する質問も数多く寄せられ、CC-Linkへの関心の高さを感じました。

皆様のCC-Linkへの期待にお応えすべく、今後もCC-Linkの普及をすすめていきます。

Lee Keun Woo CLPA韓国支部

CLPA Schedule

5月

- 15日 第12回マーケティング部会
- 27日 第12回テクニカル部会
- 30日 第13回幹事会

7月

- 14～16日 SEMICON-West
(サンフランシスコ)出展

CLPA Information

CC-Link協会パートナー会員数:480会員(2003年4月現在)

CC-Link接続製品数:482製品(2003年4月現在)

2002年度は、前年度比で会員数:222会員、製品数:100機種の増加となりました。国内外ともに、CC-Linkの普及は加速し続けておりますが、更なるグローバルレベルでの普及拡大を目指し、会員の皆様と共に、活動をすすめて参ります。今後とも、皆様のご支援をよろしくお願いたします。

〒461-0011

名古屋市東区白壁3丁目12-13

CC-Link 協会

事務局長 原田 昭男

TEL (052)936-6050 FAX (052)936-6005

E-MAIL:cc-link@post0.mind.ne.jp

URL:http://www.cc-link.org

